

## 全工場がペーパーレス化

### 業務効率化、加工変更迅速対応

有力コイルセンターの急な変更時の伝達・指示根津鋼材（本社・東京都荒川区東日暮里、社長・根津訓光氏）は、グループを含む全6拠点の生産現場でペーパーレス化し、運用を開始した。

事務所や工場で使用していた種々の紙データを全て独自のコンピュータシステム上でファイルし、その情報を現場に配置したモニタ画面で表示する仕組みだ。作業の効率化・時短はもちろん、

ストや異常報告書などが紙データでやりとりされ、荷も大きい。しかも急な



加工指示・変更の伝達はモニタ画面で表示



スリッター刃組みもモニタ画面(円内)で表示

変更のため、事務所の生産管理スタッフは現場に足を運んで報告・指示するが、伝達部署が多いだけに、労務負

その情報をリアルタイムにモニタ画面で周知し、時間差なくすべての当該部署で情報を共有できる。3月から、子会社の村田鋼業（千葉県浦安市）を含む全6拠点で運用を開始した。5月には「異常報告」を通知するシステムも完成する予定で、それによって現場の完全ペーパーレス化が実現する。

今後、作業効率や時短、省力化の具体的成果を検証していくことになるが、システム化によってグループ全体で月間3万5千枚に及ぶ紙データがなくなるほか、トレーサビリティの確立や他拠点で生産管理を遠隔指示することも可能になる。